

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立御館小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ ・ Ⅴ
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	郡山市立御館小学校 第1学年 8名 第2学年11名 第3学年16名 第4学年12名 第5学年12名 第6学年13名 計72名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育科)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	「パラリンピック」について学ぶことを通して、インクルーシブな社会の一員としての心構えをもつことができる。
5 取組内容	<p>○11月8日 車いすバスケットボール体験（4・5・6年）</p> <p>①各担任による「I'm POSSIBLE」を活用した事前指導</p> <p>②車いすバスケットボール体験（講師：チームアース4名）</p> <p>・講師より競技の紹介</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>・車いすの体験（車いすで鬼ごっこ）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>・シュート練習</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>

・ゲーム



・模範プレーの見学



・質問等交流の時間



○12月18日 ボッチャ体験（1・2・3年）

①合同での「I'm POSSIBLE」を活用した事前指導



②ボッチャ体験（講師：福島県障がい者スポーツ協会）

・ルールの学習



・ゲーム



・昼休みにも体験



○12月18・19日 4・5・6年生もボッチャ体験



6 主な成果

- オリンピックやパラリンピックへの興味・関心を高めることができた。
- 障がい者スポーツへの理解が深まった。
- 障がい者への理解を深めることができた。
- 障がい者と接する際の抵抗感を下げることができた。

<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○ 今回の学習が一過性のイベントで終わるのではなく、少しでも日常化を図って、子どもたちの理解を深めることができるように環境の整備をした。多目的室にミニチュアのボッチャ用コートを作り、取り組みたいときにいつでも取り組むことができるようにした。ボッチャ用のボールは、郡山市スポーツ振興課より借用することができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>事前・事後指導の中でねらいを明確にすることによって、楽しいだけの活動にならない。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験する障がい者スポーツの種類を増やしたい。 ○ 障がい者の生活や障がい者スポーツについての調査活動を取り入れたい。 ○ 調べて分かったことを表現する活動を取り入れたい。 ○ 隣接する中学校との交流を行いたい。